

http://www.minamih.net/



13・3・24(日)  
南NEWS NO79

## 優勝！ おめでとう！！ 少女（5，6年）フットサル



喜びの  
ラッキー7  
ガールズ

よかったね！

一言で言えば大勝です。見ている方も気持ちいい試合でした。さらに目当てである『全員が得点する』の目標が達成できたこともとても良方です。ですが、反省点は2つ！1つ目は点数が入るにつれシュートが雑になっていました。試合前、得点差が離れても丁寧にとしつこく言ったつもりなのですが・・・。

雑なシュートの中には98%はゴールに入っていたようなシュートもありました。もし、このようなシュートを確実に決めていたとしたら30点は行っていたのではないかとコーチは自信を持って言えます。

2つ目は23-1の『1』の失点です。23点もとっているからたかが1失点なんて・・・。なんて思うでしょう。コーチは確かに勝ったことは嬉しいです。しかしこの1失点は23点とったことよりも1失点した事の方が心に残ります。サッカーでの失点は例えこのように大差がついていても失点は失点です。この失点のせいで辛い思いをするのは自分たちです。今後の試合では不用意な失点はせずに戦って欲しいと思います。

あと2勝で優勝です。去年に引き続き優勝目指して頑張りましょう！

(長岐コーチ)

(予選 1/20)

○南八王子 対 樺 6-2 (前半4-0) 得点者 片寄 Y さん4 大塚さん2

○テーマ 『全員が得点を取る』・『失点をしない』

今年もフットサルが始まりました。去年優勝しているだけに今年も優勝したいところです。

試合前コーチから選手に伝えたことは2つです。1つ目は自分たちで作戦や交代の人を決めることです。なぜこのような指示をしたかという、『勝つためにはどうしたらいいのか?』というのを普段コーチたちからの指示などで行動に移してたと思いますがサッカーをするのはコーチたちではありません。

今回は『勝つ』といことに対して普段身につけてきたことを自分たちで考え行動してみようということでこのような指示を出しました。

2つ目は『失点をしない』といことです。1失点する事にいくら得点差で勝っていてもものちのち後悔するのは自分たちです。ベンチからは『大量に得点は取らなくてもいいから失点はしないこと』と皆に伝えました。

試合内容ですが、立ち上がりからほとんど南八のペースでした。片寄さんは前へ突破できないときはスクリーンでボールキープをしたり、小沢さんはと守りの要として相手のボールを冷静にさばいてくれました。しかし後半、いいペースだった前半とは違い相手に攻め込まれたり、崩されて危うい場面が多々ありました。そのなか GK の飯島さんは体を張ったセーブを何回もし南八のゴールを守ってくれました。もし、全部入っていたらいくら南八が6点取っていても追いつかれる、もしくは逆転負けだったかもしれません。

この試合の反省としては、体育館のサッカーは久しぶりなので感覚的にはどうかと心配していましたがそのようなことは全く感じられませんでした。しかし、2失点してしまいました。この失点は自滅です。仕方ないとおもいがちですが中途半端なプレーなどがあったからかもしれません。次回は自滅以外にも無駄な失点をしないように心がけてほしいです。

ぜひ、フットサル大会連覇目指して頑張りましょう！(長岐コーチ)

(予選 1/26)

○南八王子 対 MYFC 23-1 (前半10-1)

得点者 片寄 Y さん (5)、小沢さん (6)、井上さん (6)、曾根さん (3)、  
矢久保さん、辻内さん、OG

○テーマ 『全員が得点を取る』・『失点をしない』

(準決勝 2/10)

○南八王子 対 シルク 9-1 (前半6-0)

得点者 片寄 Y さん (5)、曾根さん (2)、大塚さん、小沢さん

○テーマ 『失点をしない』

勝てば去年に続いて決勝進出の試合でした。結果を言えば勝って決勝進出です。しかし、結果の点数からすれば大勝?ですが試合の内容からすれば△です。

5. 6年生チームはこの大会で『失点をしない』にこだわってきていました。しかし途中まではベンチも納得するほど完璧でした。が、何かしらの油断、もしくは集中力がなくなっていたので、DF の連携ミスから失点。結果勝ちましたがこの失点は前回の試合にしろかなり無駄であり悔いが残る失点でした。

しかし、9点も取る攻撃力はさすがでした。この試合で一番輝いていたのは曾根さんです。フットサルと言ったら個人的な考えですが華麗なパスワークからの得点だと思います。小沢さんを起点に小沢さん→片寄 Y さん→曾根さんがフィニッシュ!この形は最高でした。そのほか惜しいシーンもありましたが今後に期待が持てるプレイでした。

次はついに決勝進出です。去年に続き是非優勝しましょう！(長岐コーチ)

(決勝 2/10)

○南八王子 対 南大沢 2-2 (前半2-1) 延長戦1-0

得点者 片寄 Y さん (2)、小沢さん

○テーマ 『失点をしない』

ついにやってきました。去年に続き決勝戦進出です。目指してきたものまであと1つです。

試合の内容ははっきり大まかに言うと『死闘』でした。勝つということがここまで大変なのかというものを思い知らされました。

相手は5年生のチームでした。試合開始するとペースは完全に相手でした。うかつなミスで2失点も許してしまいました。

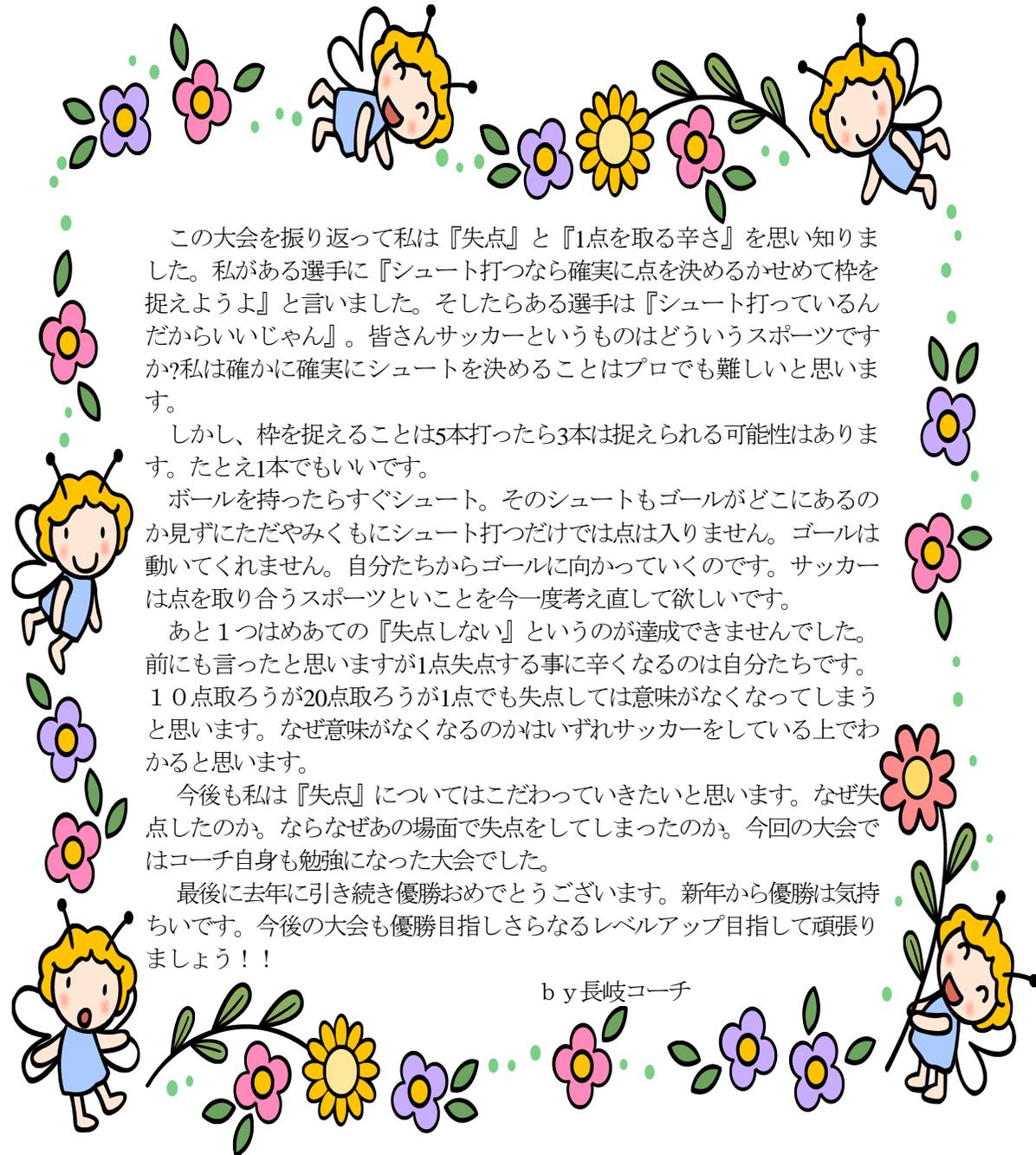
場の空気に飲まれる、緊張する。このようなことはよくあることだと思いますがいつまでたってもこのようなことが続くと今後の試合では勝てないと思います。

皆さんは普段辛い練習を繰り返してるとおもいます。その結果どんどん上達している選手もいます。もっと自信を持ってプレーすれば場の空気に飲まれたり緊張などは和らぐと思いませんか?

この試合は辛い試合でしたが GK の飯島さんは相手の強烈なシュートやキーパー

の守備範囲ではかなりきついところに打たれたシュートも体を張って防いでくれました。また DF の小沢さんは辛いながらも必死に DF をし相手の攻撃を抑えていました。この姿は立派でした。そしてこの試合を優勝に導いてくれたのはエースでキャプテンの片寄 Y さんです。延長後半残りもあとわずかという時に得点を決める姿は南八少女のエースでキャプテンとしてふさわしい人物です。

去年に続き優勝できてほんとに良かったです。来年も優勝できるように毎日の練習から頑張りましょう！



この大会を振り返って私は『失点』と『1点を取る辛さ』を思い知りました。私がある選手に『シュート打つなら確実に点を決めるかせめて枠を捉えようよ』と言いました。そしたらある選手は『シュート打っているんだからいいじゃん』。皆さんサッカーというものはどういうスポーツですか?私は確かに確実にシュートを決めることはプロでも難しいと思います。

しかし、枠を捉えることは5本打ったら3本は捉えられる可能性はあります。たとえ1本でもいいです。

ボールを持ったらすぐシュート。そのシュートもゴールがどこにあるのか見ずにただやみくもにシュート打つだけでは点は入りません。ゴールは動いてくれません。自分たちからゴールに向かっていくのです。サッカーは点を取り合うスポーツといことを今一度考え直して欲しいです。

あと1つはめあての『失点しない』というのが達成できませんでした。前にも言ったと思いますが1点失点する事に辛くなるのは自分たちです。10点取ろうが20点取ろうが1点でも失点しては意味がなくなってしまうと思います。なぜ意味がなくなるのかはいずれサッカーをしている上でわかると思います。

今後も私は『失点』についてはこだわっていきたいと思います。なぜ失点したのか。ならなぜあの場面で失点をしてしまったのか。今回の大会ではコーチ自身も勉強になった大会でした。

最後に去年に引き続き優勝おめでとうございます。新年から優勝は気持ちいです。今後の大会も優勝目指しさらなるレベルアップ目指して頑張りましょう!!

by 長岐コーチ